

第2回 PFAS 血液検査結果説明会(報告)

脱プラサークル

1月11日、兵庫県民主医療機関連合会主催の報告会に参加しました。今回の血液検査の参加者は、兵庫県に在住している住民54名です。(明石市21名、神戸市19名、阪神間(尼崎・宝塚・西宮・芦屋)8名、播磨地域(加西・西脇・加古川・高砂)6名)。

○全体の検査結果として、PFOAの血中濃度は、極めて高い。
○4PFASの合計値も極めて高い。という結果です。
大阪府のダイキン工業淀川製作所からの汚染が広がる大阪府全域(摂津を除く)に匹敵するとのお話をしました。

兵庫県は、PFASの汚染地域であるというお話を驚きました。
日本には、血中濃度の基準がありませんが、アメリカやドイツには、基準があり、一定の濃度を超えると病気になる可能性があるので、医療機関への受診を勧められます。例えば、ドイツではPFOAは、10ナノグラム、PFOSは、20ナノグラム、アメリカでは、7PFASの合計で20ナノグラム以上です。今回の54名の分析では、アメリカの基準でいえば、4PFASでは、14名(25.9%)が上回り、7PFASは、18名(33%)が上回っていました。とても、高い割合です。

分析された小泉昭夫先生は、環境省が行なったエコチル調査で、妊娠のPFAS濃度が高い場合、低体重児が増えていると、データーから明らかになっているというお話をしました。そういう結果が出ているにも関わらず日本では、水道水の基準がゆるすぎると厳しく非難されていました。(日本は1日50ナノグラム)アメリカ基準の4ナノグラムにすべきです。説明会は、70名の参加で、いろいろな質問が出ていました。その中で、なぜ、高濃度の値が出たのか? 有機野菜は、PFASをよく吸収するのか?という問い合わせに対しては、汚染源は、多岐にわたり、食べ物やハウスダストも考えられるというお話や、PFASと有機野菜の関連はわからない。汚染源を特定するのは、行政の仕事だと答えられました。(他にも多数質問あり)

主催した兵庫民医連の滝本医師から「健康被害の証拠がそろわないと国は動かない」が、「予防原則の立場で」病気を未然に防ぎたいというお話があり、PFAS検査の為のカンパを訴えられました。参加者として、本当に大事な命を守る活動だと思い、周りに広げたいと思いました。

居住地(4分類)による差 N=54(統計的差なし)									
居住地	人数	PFOS		PFOA		4PFAS		7PFAS	
		平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
明石市	21	7.0	8.6	7.0	6.5	18.3	16.7	21.3	19.7
神戸市	19	5.4	3.5	4.6	1.6	15.9	6.8	18.8	8.5
播磨	6	6.3	4.4	3.8	1.0	14.7	8.4	15.8	8.9
阪神間	8	5.0	3.8	4.4	2.5	13.6	8.6	15.8	10.1
全体	54	6.4	6.0	5.4	4.4	16.4	11.8	19.1	14.0

第2回PFAS血液検査の結果

兵庫県民主医療機関連合会 主催